



～ありがとう これからも地域とともに～

兵庫丹波の森協会ニュース2018

丹波の森構想を推進するため、篠山市・丹波市の出捐により設立された（公財）兵庫丹波の森協会が、丹波の森公苑・丹波年輪の里・ささやまの森公園・丹波並木道中央公園を拠点として、地域の方々の「参画と協働」により2018年に実施した主要な取り組みや事業等をお知らせします。丹波の森づくり（地域づくり）への理解と関心を深めていただくとともに、今年の丹波の森づくりを振り返る資料として発行しました。事業に関するご意見等をお寄せください。

〔新〕は新規事業、〔継〕は継続事業です。

トピックス

〔新〕丹波の森づくり30周年記念シンポジウムを開催

昭和63年9月に住民の総意として採択された「丹波の森宣言」に基づき、丹波地域全体を一つの森としてとらえ、自然と人と文化が調和した地域づくりを進めてきました。

今年、丹波の森構想策定30周年を迎えるにあたり、丹波の森づくり30周年記念事業実行委員会が主催し、住民参加によるシンポジウムを開催しました。

記念シンポジウムでは、「みんなで語ろう30年後の丹波の森」をテーマに、各世代からの丹波の森づくりのメッセージ発表や、「丹波の森の姿」「丹波の森づくりのこれまで」「丹波の森づくりのこれから」の映像上映、全国公募で選ばれた記念事業ロゴマークの発表などが行われました。行政、団体、住民が丹波の森づくりを振り返り、地域全体で丹波地域の自然や文化を、世代を超えて未来へ繋ぐことが確認できたシンポジウムとなりました。

○開催日：11月18日（日）



シンポジウム会場の様子



各世代からのメッセージ発表

また、イベントの一環として、丹波の森ミニガーデン（秋のオープンガーデン）を実施しました。

このイベントは、秋のオープンガーデンと位置付け、毎年4月、5月に開催されている春の「たんばオープンガーデン」の対のオープンガーデン・イベントとして企画しました。

「丹波の森ミニガーデン」は、小さな木枠の中で、思いを込めたガーデンづくりを楽しんでいただくとともに、作り手の方々と花緑やガーデンづくりが好きな方、興味のある方、やってみたくて思っている方々の交流の場として育てていきたいと思えます。

今年の「丹波の森ミニガーデン」には、丹波の森花くらぶ、丹波OB大学花クラブ、篠山産業高校、氷上高校の皆さんが参加してくれました。それぞれ個性ある素晴らしいガーデンが展示され、訪れた人たちを楽しませていました。



ミニガーデン設置の様子



丹波の森ミニガーデン

「丹波の森」ロゴマークが決定！

5月～7月まで全国公募を行い審査の結果、右記の「丹波の森」ロゴマークが決定しました。

採用作品は、丹波霧に包まれた山々をモチーフに雄大で美しい自然を表現しています。



2018丹波の森フェスティバル開催

真の豊かさの実現をめざす生活創造活動を通じて丹波の森づくりが幅広く展開されるよう、住民主役の活動と交流を図る様々な事業を進めており、活動成果の発表や交流の場として、2018丹波の森フェスティバルを開催しました。本年度は、初めて丹波GOGOフェスタ、丹波市産業交流市と同時に開催し、また兵庫県政150周年記念イベントとして「ハロウィンの森とスイーツとワークショップ」をテーマに、例年より丹波の森フェスティバルとしても規模を拡充して実施したところ、18,000人の来園者がありました。秋の好天のもと、子どもから大人まで笑顔で楽しめる1日となりました。

○開催日：10月28日（日）



丹波GOGOフェスタ会場の様子



ハロウィンの森をテーマとした会場

新 まんきつ！シューベルティアード開催

丹波の森国際音楽祭シューベルティアードたんば2018では、県政150周年、丹波の森づくり30周年記念事業として「まんきつ！シューベルティアード」を開催しました。

2つのふれあいコンサートと音楽祭のフィナーレを飾るガラ・コンサートを貸切バスで巡るツアーを実施し、大阪からは車内演奏付きの専用列車も運行しました。ガラ・コンサートは「パパからもらったクラリネット」と題し、フライブルク音楽大学（ドイツ）の講師で、ピアニストのティルマン・クレーマー氏を招聘し、音楽を通じた国際交流を図りました。

○開催日：11月10日（土）

○場所：篠山城大書院、柏原藩陣屋跡、丹波の森公園ホール

○入場者：484人



専用列車内の演奏



ガラ・コンサート

新 ささやまの森公園来園者30万人達成【ささやまの森公園】

ささやまの森公園は、平成14年に県内の「ふるさとの森公園」の2番目として設置され、豊かな緑の中で人々が集い、ふれあうことができる場として、四季に応じて様々なイベントや体験プログラムを展開してきました。

平成30年11月11日の「秋の里山まつり」に累計入園者数が30万人目に達し、記念セレモニーを実施しました。

累計入園者数の推移

平成19年 9月24日 10万人達成

平成24年12月 1日 20万人達成



セレモニーの様子

森林文化（地域づくり）の創造

「丹波の森構想」の普及・啓発のための人材養成、丹波の森づくり推進施策に基づく事業を行うことにより、丹波の森構想の理念である「自然とともに生きる地域社会の実現」をめざしました。

継 丹波の森大学を開講

丹波の森構想策定30周年を迎えるにあたり、学習の基本テーマを「森のくらしの多層性」とし、原点に立ち戻って人のくらしと森との関係を多様な視点から見つめなおし、「森」ということばの多義性をふまえて生活環境の多層性を理解することから、丹波の森のくらしと地域づくりを考えました。

第6回目の講義では、龍谷大学政策学部講師の石原凌河先生から「近年の大災害からみた被災生活の多層性」のテーマでお話をお聞きし、災害が起きた時の避難について、ワークショップ形式で意見交換ができる場をもちました。

○開催期間：6月8日（金）～12月14日（金）全10回（うち1回現地学習（国立民族学博物館他））

○場 所：丹波の森公苑多目的ルーム、篠山市民センター

○受 講 生：50人



講義の様子



ワークショップの様子

新 川代溪谷ラインパークドローン空撮イベントを開催

恐竜化石発見地や丹波竜実物大モニュメントなどが集まる川代溪谷沿い（川代溪谷ラインパーク）を、一定水準の飛行、撮影技術を持ったドローンフライヤーたちが、ふだん見ることのできない角度から撮影する「ドローン空撮イベント」を開催しました。夕刻から開催された地元サマーイベントでは優秀作品の表彰式を行うとともに優秀作品の上映も行いました。

今回撮影した映像は、今年度作成のフィールドミュージアムプロモーションビデオにも活用し、農村風景の中から恐竜化石が発見されるという希少な地域の魅力を発信します。

○開催日：8月4日（土）



イベント会場



ドローン撮影風景（川代溪谷）

国蝶オオムラサキの舞う里山イメージ画コンテストの開催

丹波の森公苑では丹波地域の里山に国蝶オオムラサキの舞う姿を取り戻すべく、オオムラサキの飼育、放蝶をはじめ、小学校などでの飼育指導を行っています。

今夏、オオムラサキの舞う里山を描こう！“をテーマに小学生を対象として実施した「国蝶オオムラサキの舞う里山イメージ画コンテスト」は、第3回目の取組みとなり、新たに学校単位での参画があるなど、その裾野の広がりが感じられ、環境学習の成果が見られました。（丹波地域の20の小学校から70作品の応募）。寄せられた作品には、オオムラサキが里山に舞う姿が、生き生きとした色使いで描かれていました。

また、この取組みを広く知ってもらうため、「2018丹波の森フェスティバル」メインステージにおいて、丹波の森公苑長から最優秀賞受賞者に表彰状を手交するとともに、子ども達が描いた作品をできるだけ多くの方に見てもらうため、篠山市二か所（篠山市市民センター、篠山市立中央図書館）、丹波市二か所（ゆめタウン、丹波の森公苑）の計四か所でオオムラサキの絵画作品展を実施しました。

今後も、子ども達の思いが届き、国蝶オオムラサキが舞う里山が増えていく取組みを続けていきます。

○表彰式：10月28日（日） ○展覧会：10月30日（火）～



表彰式の様子



展覧会場の様子

オオムラサキ観察大型ケージ完成

丹波の森公苑では、国蝶オオムラサキを飼育しています。これまでの3つの飼育ケージで育ててきました。しかしながら来苑者には少し遠すぎたり、ケージの老朽化に悩んでいました。

そこで、駐車場のすぐそばに新しく飼育ケージを設置しました。幼い子どもさんから高齢者の皆様にも負担なく、広いケージ（10m×8m 高さ5mのかまぼこ形）の中を自由に観察してもらうことができ、そして、オオムラサキがストレスなく翔んでくれるケージになっています。

オオムラサキは夏の蝶です。美しい成虫は6月から8月上旬に見ることができ、それ以外はほとんど幼虫で1年を過ごします。森公苑に来られたら、是非覗いてみてください。



完成したケージ



ケージ中での観察会の様子

「さわってみ 丹波いきもの大集合」の開催

丹波の森公苑では丹波地域の里山に国蝶オオムラサキの舞う姿を取り戻し、良好な里山環境を次世代につなげていくため、準絶滅危惧種であるオオムラサキの飼育に取り組んでいます。

今夏、地域のショッピングセンター（丹波ゆめタウン）を会場として、丹波地域子ども達と保護者を対象に、オオムラサキを中心として、ドジョウ、イモリ、ヤゴといった自然の生物に直接触ってもらい、丹波地域の生態等について幅広く学ぶ機会を設けました。

丹波の森公苑の他、兵庫県立人と自然の博物館、動物や虫等の保護活動に取り組む市民団体「兵庫丹波オオムラサキの会」、「丹波地域のホトケドジョウを守る会」と合同で初めて企画しました。

会場の「タッチコーナー」では、蚊帳の中のオオムラサキやカナブンなどの昆虫や、ミニプール内のアカハライモリ等、約20種類のいきものに親しむことができ、家族連れを中心に2日間で430名が参加。実際に手で触れ、実物が目の前で動く迫力に子ども達の大きな歓声が響きました。

○開催日：7月14日（土）～15日（日）



タッチプールの様子



オオムラサキとチーズ！



蚊帳内観察の風景



昆虫拡大模型の展示

【継】 ゴールデンウィークフェスタ2018開催【丹波年輪の里】

親子で協力して木のスプーンを作る「親子でつくる木工教室（スプーンを作ろう!）」や、竹とんぼ名人に教えてもらう「竹とんぼ作り教室」、想像力をはたらかせて色々なものを作る「端材で遊ぼう!」、木工家たちが丹精込めて制作した木の椅子が大集合する「座っ展2018」、木工家たちによる展示販売を行う「丹波ウッドワーカーズクラフト」など、丹波地域周辺で活動する木工家のPRの後押しとなるイベントを開催しました。来場者数8,189名（8日間総合人数）と、多くの地域の方との文化交流が行われました。

○開催日：4月28日（土）～5月6日（日）※5月1日（月）は休館日



竹とんぼ作り教室



丹波ウッドワーカーズクラフト



ツリーイング体験



座っ展2018

【新】 里山落語「ささもり亭」の開催【ささやまの森公園】

米朝事務所の落語家桂小鯛さんを招聘し、里山落語「ささもり亭」を開催しました。演目の中には、人と自然が共生する里山づくりをアピールしていただく場面もあり、来場者からは「里山の自然の中で、楽しいひと時を過ごすことができました」と好評をいただきました。

○平成30年9月22日（土）



落語会の様子

日時 2018年9月22日（土）
13:00開場 13:30開演

桂 小鯛
(株)米朝事務所
料 金(文化活動協力金) 300円
<お楽しみ抽選会あり>

ささやまの森公園
里山落語 ささもり亭

出展 丹波内陸の森協会
兵庫県ひささやまの森公園
〒659-2512 兵庫県丹波市川原511-1
TEL 079-557-0045
FAX 079-557-0201
E-mail: cafe@sasayamamori.jp
URL: https://www.sasayamamori.jp/

🔗 各種イベントを実施【丹波並木道中央公園】

公園の特性を考慮しながら季節に応じた多彩な企画やイベントを実施したところ、多くの参加者でにぎわいました。

また、参加型プログラムを企画し、地域住民との広範な連携をはかることができました。

その一つとしてお正月イベントを1月7日（日）にかやぶき民家で開催しました。正月の風物詩・凧づくり、凧あげをしました。

お父さんやお母さんに手伝ってもらいながら、ようやく完成した「マイカイト」。正月の冬空に舞い上がりました。

凧あげの後は、正月を祝い当公園で収穫した赤米入りの餅が入った手づくりのぜんざいをふるまいました。



凧づくりの様子

また、交流事業の一つとして、阪神間のこども園や地元小学校の児童が棚田に赤米の田植えを行い、10月に収穫体験をしました。8月2日（日）は、篠山市と姉妹都市の愛知県犬山市、愛媛県愛南町から多くの子どもたちを迎えて木エクラフトを実施し、楽しみながら交流を深めることができました。

他には、兵庫考古博物館より講師を迎え、勾玉（古墳時代の装身具）づくりのワークショップや、森林と里山の再生を担う人材を育成する里山スクールを篠山市と共催で開催するなど、多彩なプログラムを展開しました。



木エクラフトの様子



田植えの様子



ワークショップの様子



伐採の実地訓練

生活創造活動への支援

芸術文化、環境、消費生活、健康、福祉等の様々な分野にわたる生涯学習、地域づくり活動その他の活動であって、豊かな生活を創造するための県民の主体的な活動を支援し、生活創造活動に係る情報を提供することにより丹波の森構想の理念である「活力ある開かれた地域社会の実現」をめざし事業を取り組みました。

丹波OB大学・大学院生が地域で活躍！

丹波OB大学では、地域実践の日（7月11日（水））を設定し、管内7カ所の事業所等で、受講生が福祉ボランティア活動や清掃作業を行いました。

丹波OB大学大学院では、1年生は丹波市の女子硬式野球選手権大会や篠山市の丹波篠山・まちなみアートフェスティバルなどについてフィールドワークを行い地域づくりへの参画について学びを深め、今後の活動の方向性を定めようとしています。

2年生は、丹波市において積極的な地域コミュニティ活動を展開している自治会等を取材しました。それらの活動を多くの人に紹介し、地域活性化の一助となるようなミニコミ誌を作成中です。



丹波市青垣町での清掃作業の様子



フィールドワーク（大学院1年生）



フィールドワーク（大学院2年生）

講座「丹波学」 今に息づく丹波の遺産～室町・戦国社会から～

丹波には、遺跡や遺物、地名や地形にその名残を止めるもの、風習や行事として残るもの、歴史的につながりをもつものなど多種多様な遺産が現存しています。その関連づけや意味づけを講座で学ぶことが、丹波に対する新たな見方や考え方を生み出す契機となり、地域の活性化や伝統文化を次代へ残すための原動力へと繋がることを期待して平成30年度講座「丹波学」を開講しました。

○開講日：8月25日（土）、9月8日（土）、10月13日（土）、
11月24日（土）、12月15日（土）の5回

○場 所：丹波の森公苑 多目的ルーム

○受講者：132人



講義の様子

丹波の森子どもミュージカル体験塾発表公演の実施

丹波の森子どもミュージカル体験塾では、7月22日(日)から10月20日(土)まで、全部で15回のレッスンを行い、丹波地域の小・中学生及び高校生37名の子どもたちが、劇団ウエスト(大阪府豊中市)の劇団員による指導を受けました。

レッスンにより鍛えられ、磨き抜かれた塾生のダンスや歌唱力、演技力に、ホール全体が魅了され、多くの来場者から称賛を得ることができました。

- 開催日:10月21日(日)
2回公演(1回目10:30開演、2回目13:30開演)
- 場 所:丹波の森公苑ホール
- 出 演:
平成30年度丹波の森子どもミュージカル体験塾生(37名)
劇団ウエストの劇団員
- 演 目:ピーターパン
- 入場者:625人



子どもミュージカル発表公演

丹波(篠山市・丹波市)のむかしばなし語りベクラブの活動支援

子どもの健やかな成長とところ豊かな地域づくりを願い、兵庫丹波の森協会が発行している「丹波(篠山市・丹波市)のむかしばなし」(全10集)を活用し、話し聞かせる活動を行っているサークルに、大型紙芝居等の作成・修復に対する助成を行いました。

併せて、会員の技術向上と情報交換の場として会員同士の交流研修会を11月27日(火)に、篠山市立岡野小学校で行いました。



語り部サークル活動の様子
(篠山市立岡野小学校)

丹波の森国際音楽祭シューベルティアードたんば2018を開催

24回目の開催となる今年は、「丹波が弾む♪パオパオパ♪」をテーマに、クラリネット奏者の稲本渡氏がフランスを務め、秋の丹波を舞台に多彩なコンサートを開催しました。

○ オープニング・サロンコンサート

「ぼくの大好きなクラリネット」と題し、フランス稲本氏のクラリネット演奏を中心に、お茶とケーキ付きで音楽を楽しみ優雅なひと時を楽しんでいただけるコンサートを開催しました。

- 開催日:9月9日(土)
- 場 所:お菓子の里丹波ミオール館
- 入場者:208人



オープニング・サロンコンサート

○まんきつ！シューベルティアード

※トピックスに掲載

○ 街角コンサート

丹波各地の公共施設を会場として、地域の特徴を生かしたコンサートを10カ所で開催しました。

○ふるさと音楽ひろば

丹波地域の小学校10校に音楽家が出向き、間近でプロの演奏が鑑賞できる機会を提供し、子どもたちとワークショップを行いました。

○キン・コン・カン・コンサート

丹波地域の中学校・高等学校3校に音楽家が出向き、演奏会を行いました。

○被災地への支援活動

東日本大震災の被災地を応援するため、平成29年度シューベルティアードたんばの各コンサート会場で募金活動を行い、多くの方からご支援いただきました。集まった義援金で、卓上木琴とカウベルを購入し、福島県相馬市立磯部小学校に贈呈しました。

5月29日（火）には、シューベルティアードたんばから派遣したピアノ奏者の高橋麻子さんと、ティンパニー奏者の竹内将也さんが磯部小学校を訪れ、楽器の贈呈式及びミニコンサートを行いました。児童の鼓笛演奏と合奏したり、鉄琴の音と映像を合わせたりするなど工夫を凝らしたコンサートを行いました。代表の児童から「高橋さんのピアノ演奏と竹内さんの打楽器の演奏を聴くことができ、全校生みんなとても楽しい音楽の時間になりました。私たちは音楽がとても好きなので、ミニコンサートでは、高橋さんや竹内さんといっしょに演奏することができて本当に楽しかったです。」とのお礼の言葉がありました。



ミニコンサートの様子



児童との合奏の様子

📌 アート・クラフトフェスティバル in たんば開催【丹波年輪の里】

台風の影響に伴い、9月29日（土）、30日（日）開催予定が11月に延期となりましたが、全国各地から約110名のクラフト作家が木工や陶芸、ガラス、染織など様々なジャンルの作品が展覧されました。

約1万人の来場者があり、出展者と来場者同士の交流が生まれました。地域の文化的向上と、全国への文化情報の発信により工芸・美術の振興を図る一大イベントとなりました。

○開催日：11月3日（土）、4日（日）



会場の様子



会場の様子

📌 第31回丹波の森ウッドクラフト展（木のおもちゃ大賞展）開催【丹波年輪の里】

丹波の森ウッドクラフト展は、今年度で第31回を迎える全国公募展です。

一般の部は全国22の都道府県から110点、ジュニアの部では155点の作品の応募があり、今年も多くの方々から、木に親しみ、自らの手でものを作り出す創作の喜びあふれる作品の展覧がありました。

また、展示会には一般の部1,180名、ジュニアの部3,270名、計4,450名の来場者があり、木の温もりや手作りの良さを再発見していただく機会にもなりました。

木工を楽しみ、また木作品を鑑賞することは、森や自然環境のことを考えるきっかけにもつながり、そういった「木育」の観点からも、今後ともこの公募展のますますの発展を目指していきます。

○開催日：一般の部：9月16日（日）～30日（日）

ジュニアの部：10月21日（日）～11月4日（日）



一般の部 グランプリ作品



ジュニアの部
グランプリ作品

利用者の状況 (2018年1月～11月末現在)

【丹波の森公苑】	239,714人
【丹波年輪の里】	168,617人
【ささやまの森公園】	13,500人
【丹波並木道中央公園】	127,387人

公益財団法人 兵庫丹波の森協会

〒669-3309 兵庫県丹波市柏原町柏原 5600
TEL 0795-73-0933 FAX 0795-72-5164

丹波の森公苑

〒669-3309 兵庫県丹波市柏原町柏原 5600
TEL 0795-72-2127 (代表) FAX 0795-72-5164
URL <http://www.tanba-mori.or.jp/>
E-mail morikoen@hk.sun-ip.or.jp

丹波年輪の里

〒669-3312 兵庫県丹波市柏原町田路 102-3
TEL 0795-73-0725 FAX 0795-73-0727
URL <http://nenrin.org/>
E-mail mail@nenrin.org

ささやまの森公園

〒669-2512 兵庫県篠山市川原八幡谷 511-1
TEL 079-557-0045 FAX 079-557-0201
URL <http://www.sasayamanomori.jp/>
E-mail csr@sasayamanomori.jp

丹波並木道中央公園

〒669-2221 兵庫県篠山市西古佐 90 番地
TEL 079-594-0990 FAX 079-594-0991
URL <http://www.hyogo-park.or.jp/tanba>
BLOG <http://namikimichipark.blog.fc2.com/>